

知的障害のある子どもの 生活スキル指導に用いる教材開発 ～ひもの結び方～

発表番号 9 182-E7211 中村真花



- ①対象児童の実態イメージ
- ②学習指導要領における位置づけ
- ③指導目標と評価基準
- ④教材の作り方
- ⑤教材を活用した授業について
- ⑥教材の工夫点
- ⑦教材の改善点



①対象児童の実態イメージ

知的障害 軽度の小学3年生を想定。

○実態

- 一人で固結びをすることができる。
- 一人で蝶々結びをすることができない。
→一人で靴紐を結ぶことができない。



②学習指導要領における位置づけ

○日常生活の指導

児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動について、**知的障害の状態**，**生活年齢**，**学習状況**や**経験**等を踏まえながら計画的に指導するもの。

生活科を中心として、特別活動の[学級活動]など広範囲に、各教科等の内容が扱われる。それらは、例えば、衣服の着脱、洗面、手洗い、排泄、食事、清潔など基本的な生活習慣の内容や、あいさつ、言葉遣い、礼儀作法、時間を守ること、きまりを守ることなどの**日常生活**や**社会生活**において、**習慣的に繰り返される**、**必要で基本的な内容**。



②学習指導要領における位置づけ

○日常生活の指導にあたって考慮すること

(ア) 日常生活や学習の自然な流れに沿い、その活動を実際的で必然性のある状況下で取り組むことにより、生活や学習の文脈に即した学習ができるようにすること。

(イ) 毎日反復して行い、望ましい生活習慣の形成を図るものであり、繰り返しながら取り組むことにより習慣化していく指導の段階を経て、発展的な内容を取り扱うようにすること。

(ウ) できつつあることや意欲的な面を考慮し、適切な支援を行うとともに、生活上の目標を達成していくために、学習状況等に応じて課題を細分化して段階的な指導ができるものであること。

(エ) 指導場面や集団の大きさなど、活動の特徴を踏まえ、個々の実態に即した効果的な指導ができるよう計画されていること。

(オ) 学校と家庭等とが連携を図り、児童生徒が学校で取り組んでいること、また家庭等でこれまで取り組んできたことなどの双方向で学習状況等を共有し、指導の充実を図るようにすること。



②学習指導要領における位置づけ

○自立活動

5 身体の動き

(3)日常生活に必要な基本動作に関すること

食事，排泄，衣服の着脱，洗面，入浴などの身辺処理及び書字，描画等の学習のための動作などの基本動作を身に付けることができるようにすることを意味している。



③指導目標と評価基準

○指導目標

- ・ 喋々結びの仕方を覚え、一人で喋々結びをすることができる。
- ・ 靴紐を自分で結ぶことができる。



○評価基準

- ・ 教材を使い、自分の力で喋々結びができている。
- ・ 自ら進んで自分の靴紐を結ぶことができている。



教材について



④教材の作り方

○材料

- ・ フェルト
- ・ 靴紐
- ・ 段ボール
- ・ はさみ
- ・ ボンド

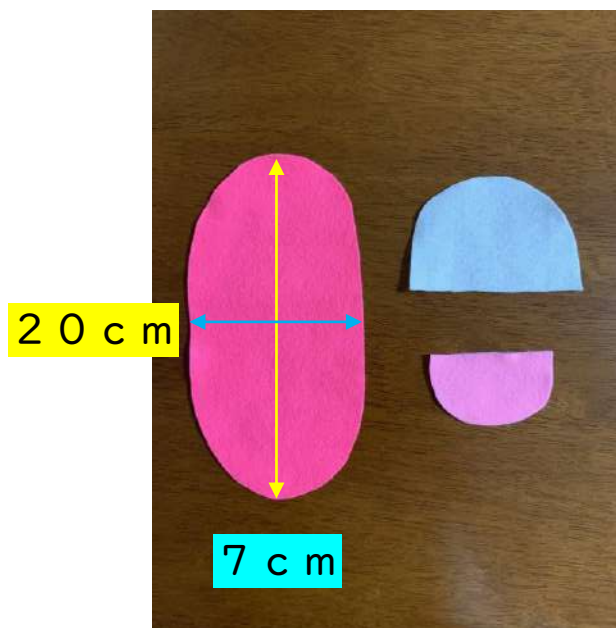


段ボールとはさみとボンドは家にあつたものを使用した。
フェルトと靴紐は100均でそろえることができたため、コストを抑えることができた。



④教材の作り方(手順)

(1)靴のパーツとなる
フェルトを切る



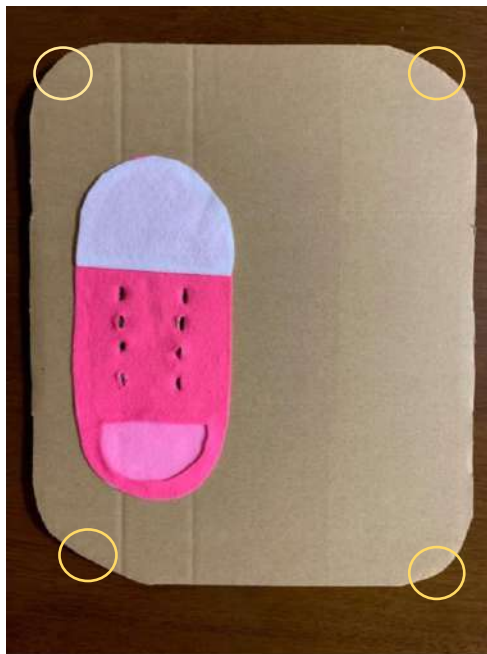
(2)フェルトを段ボール
に貼り付けていく

子どもの足のサイズに
合わせるようにした。



④教材の作り方(手順)

(3) フェルトと段ボールに穴をあける



段ボールの角が
危なかったため
丸くカットした。



④教材の作り方(手順)

(4)穴に紐を通して完成



紐はいつでも入れ替えることができる



⑤教材を活用した授業について

○指導方法

- ①教師が手を添えて一緒に蝶々結びをする。
- ②教師が片方の靴の蝶々結びを手本として示しながら一緒に蝶々結びをする。
- ③場合に応じて教師が声を掛けながら子どもが一人で蝶々結びをする。

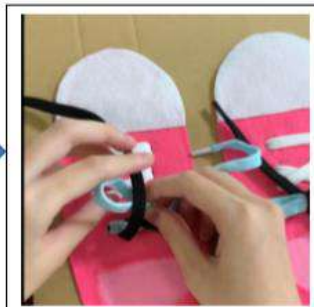
- ・ 別々の色の靴紐で練習する。
- ・ 同じ色の靴紐で練習する。
- ・ 手順表や動画を用意する。



ちょうちょむすびのてじゅんひょう



わっかをつくって



くーりん



とんねるくぐって



わっかをぎゅー

家でも練習できるように作成





家でも練習できるように作成



⑥教材の工夫点

- ・フェルトを靴型した。
 - 学習したことを実際の生活に般化できるようにした。
 - 意欲を高め、手に取りたくようにした。
- ・フェルトを段ボールに張り付けた。
 - 使用中にフェルトがよるのを防ぐようにした。
 - 耐久性も増した。
- ・家にあるものと100均で買えるもののみで作成した。
 - コストが低い。



教材の改善点

- 隣の靴の紐に手が当たる。
 - もっと右の靴と左の靴の距離を開けたい。
 - 段ボールの裏で紐の長さの調節ができるので、紐を短めに調節する。

